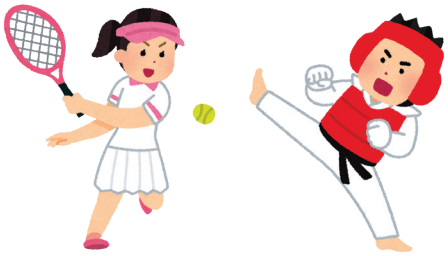
カオニオ・マムアン
（マンゴーとココナツミルクで炊くもち米）

タイのこと…聞いてみタイ？

タイ出身香取市国際交流員　テイ（ラタナウィモンチャイ　チャヤンクン）

『テコンドー』の金メダルを勝ち取った彼女の名は『テニス』、兄妹は『ボーリング』と『ベースボール』

私は皆さんに「テイ」と呼んでもらっていますが、本名は「ラタナウィモンチャイ（苗字）チャヤンクン（名前）」です。海外に行って、本名に「テイ」が入っていないのに、どこから取ったの？とよく聞かれました。私に限らず、同じことを聞かれたタイ人が多いはずです。



今回のタイトルはアメリカのあるメディアが今年のパリオリンピックでテコンドー女子49kg級の金メダルを獲得したタイのテニス（ウォンパタナキト・パニパク）選手についてのニュースの見出しです。ほとんどのタイ人は本名のほかに、ニックネームを持っています。日本でいう「あだ名」みたいなものかなとよく日本人に言われますが、別のものです。

日本のあだ名文化は日本の専門学校に留学して知りました。
「スズキ　タツヤ」が「スズタツ」
「ユキコ」が「ユッコ」
「カナコ」が「カバコ」になったり、
また、本名とは関係なく、自分の特徴を取り上げて、あだ名にした同級生もいました。

タイ人の名前とニックネームはほとんど親がつけてくれます。名前と苗字についてはまた別の機会に詳しく伝えたいと思います。ニックネームは、名前の一部から取ったという人もいますが、私とテニス選手と同じように、本名とは全く関係ないニックネームを持っている人の方が多い印象です。

由来はそれぞれですが、多いのが当時両親が好きな俳優・歌手や、タイ人からして響きがかっこいい外国語などです。テニス選手の場合、ご両親がスポーツ好きの元スポーツ選手で、子ども全員のニックネームをスポーツ名にしたそうです。スポーツ系ニックネームはかなり人気で、他には、フットボールからの「ボール」、バスケットボールからの「バス」、「ゴルフ」、「ピンポン」という人もいます。

私の兄妹の場合、姉は当時の「Mint ミント」というかなり有名な女優から取って「Mink ミンク」に、次男は三番目の子なので英語の三番目の「Third サード」に、三男は父・私・次男と同じ子音で始まるニックネームにしたいので「Toto トト」にしたと親から聞きました。ちなみに、私の「Tei テイ」は、誰かからフランス語のなんとかの単語がいい意味だからどうと言われ、その一部（té テ）を取ってつけたと母が言いました。どんな言葉でどういう意味かは覚えていないそうです・・・

私の大学の同級生の一人は6月に生まれたから「June ジューン」と名づけられたそうです。ジューンのお姉さんは5月生まれなので「May メイ」となりました。そして弟さんが3月生まれなので、もうわかりますよね、「March マーチ」と名づけられました。

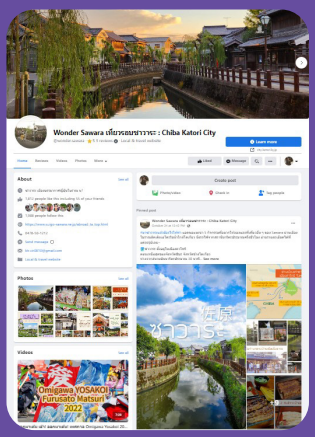
フルーツ系も人気です。例えば、ソム（みかん）、テンモー（すいか）、ソムオー（ザボン）、チェリー（さくらんぼ）、ターン（ヤシ）、マムアン（マンゴー）、マナオ（ライム）、ピーチ（もも）などです。私のおじさん世代までは、ムー（豚）、ガイ（鶏）、スーア（とら）、メーウ（ねこ）、チャーン（象）などの動物系ニックネームもありましたが、最近は見かけなくなりました。

日本に来る前からマンガやドラマで知っていた日本文化の一つに、苗字で呼び合うことがあります。同級生であっても、まずは苗字に「さん」とか「くん」をつけて呼びます。仲良くなったらさん付けをしなくてもいいようになります。さらにさらに仲良くなったら、下の名前で呼び合えます。この過程がどうしても苦手で、そのタイミングがいつ来るのかわからないのです。結局永遠にさん付けになってしまいます。専門学校に入って一回目の授業に、先生はどう呼ばれたいかあだ名があれば自己紹介の時に言ってねと言いました。それが先ほど挙げた例です。あだ名に「さん」をつける必要がないので、なんとなく少し親しくなれた気がしました。

タイ人のニックネームは戸籍上に記載がなく、公的に正式な名前ではありませんが、家族や友達はもちろん、職場の同僚、ビジネス相手とでもよく使われています。ニックネームを使うことで距離がキュッと縮まります。タイ人と友達になる機会があれば、ぜひ下の名前やあだ名で呼ばせてください。

現在、SNSを通してタイ人に香取市のことを発信していますが、香取市のみなさんにタイのことを発信できていないと感じました。学校や市民の方々との異文化交流、タイのことでなくても在日外国人としての意見交換やディスカッションなど、この月刊のようにお互いのことが少しでも知り合える機会ができたらうれしいです！お手伝いできる企画などがあれば、ぜひ商工観光課までお声がけください。

タイ人向けに香取市の情報をフェイスブックページ「Wonder Sawara เที่ยวรอบซาวาระ : Chiba Katori City」にて発信しています。可能な限り日本語の文章も付けるようにするので、ぜひのぞいてみてください～（フォローをしていただけたらうれしいです！）



FBページ → QRコード

または、フェイスブックアプリで「Wonder Sawara」を検索

プロフィール

テイ　ラタナウィモンチャイ　チャヤンクン

タイ、バンコク出身。CHULALONGKORN大学教育学部美術科卒。ウェブデザイナーとして１年間勤めた後、語学のため2008年に初来日。日本語学校を経て専門学校のグラフィックデザイン科に進学。卒業後は帰国し、新潟県湯沢町や群馬県みなかみ町のタイ語版パンフレット作製の依頼を受け、両町がタイの旅行博に出展する際にも通訳としてお手伝いをしたことが日本観光に携わるきっかけとなった。2018年再来日し、タイ語版編集者としてインバウンドウェブメディア会社に入社。2021年9月からは香取市の国際交流員として勤めている。